

第5 今後の取組

環境軸の形成を推進するためには、都と地元区市町が連携してまちづくりを進めていくなかで、各地域の特性を活かし、民間事業者や地元住民と相互に協力した取組が必要です。このためには、推進体制の構築と環境軸形成に向けた新たなしくみの創設が求められます。

1 推進体制の構築

(1) 「環境軸推進地区」の選定

環境軸を育成していくうえで、都や地元区市町などが連携して取り組むことが効果的と考えられる地区については、まちづくりの熟度や、都市施設の整備の見通しなどを勘案したうえで「環境軸推進地区」として選定し、環境軸形成の着実な推進を図っていきます。

(2) 環境軸の推進体制

① 「環境軸推進会議」の設置

都の都市基盤整備関連部署、まちづくり関連部署や、地元自治体（区市町）などから構成される「環境軸推進会議」を設置します。

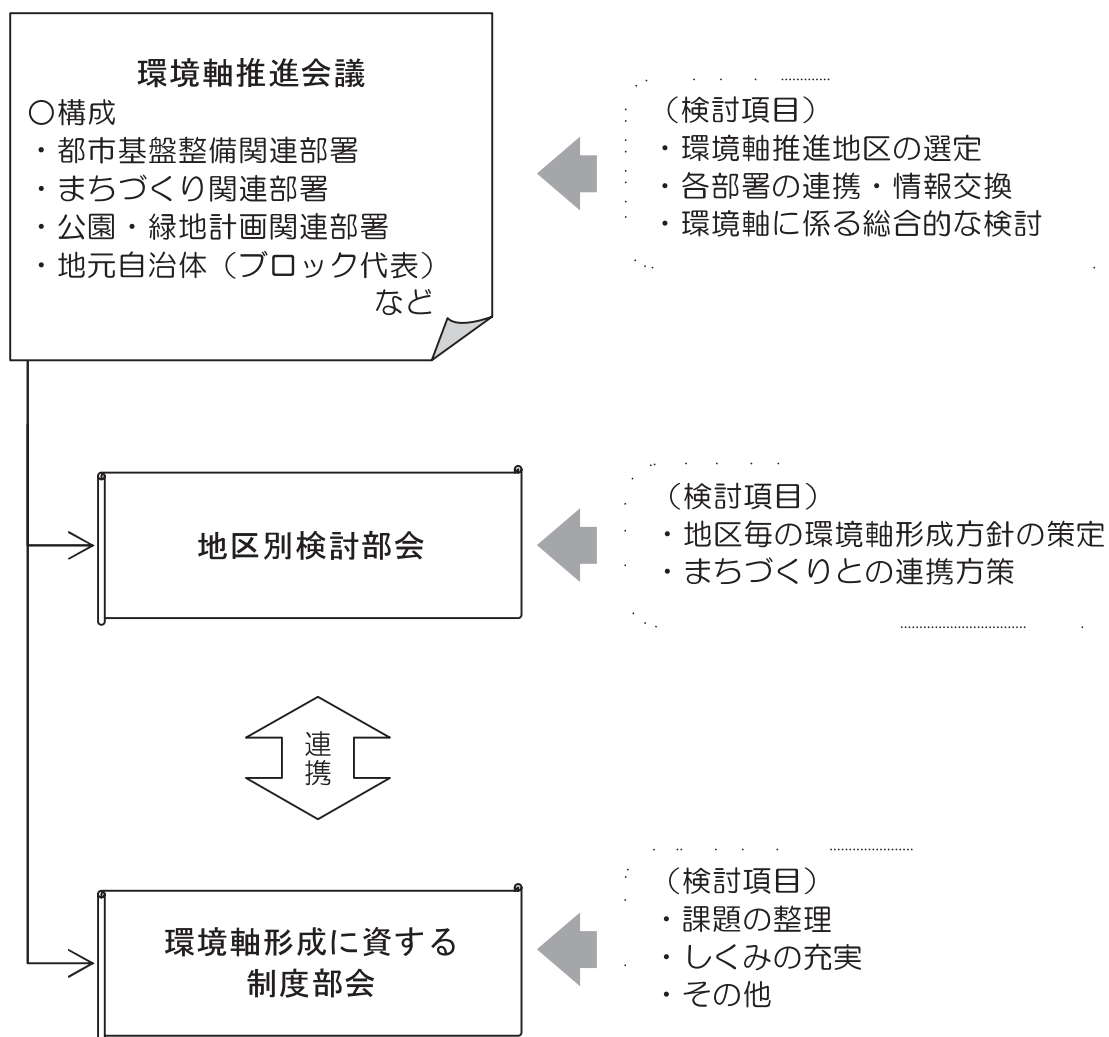
この会議は、地元区市町の意向を元に環境軸推進地区を選定すること、各部署との連携や情報交換を行うことなど、あらゆる取組を支援する役割を担っていきます。

② 「地区別検討部会」および「制度部会」の設置

本会議のもとに、環境軸推進地区毎に「地区別検討部会」を設置します。この部会では地区の特性を勘案しつつ、環境軸形成方針を策定していきます。さらに、まちづくりと連携しつつ、環境軸形成の誘導について検討していきます。

また、「制度部会」を設置し、地区別検討部会等と連携しながら環境軸推進地区での環境軸の形成にともなう課題を整理するとともに、さらなるみどりの創出に資するしくみの充実について検討していきます。

(推進体制イメージ図)



2 環境軸形成に向けた新たなしくみの創設

都市空間におけるみどりの充実には、公園・緑地の整備促進や民間開発に伴う緑地の創出、既存のみどり空間の保全など、多様な主体がさまざまな手法を複合的に活用していくことが必要です。このため、以下のようなしくみについて検討を進め、環境軸の形成を促進していきます。

① さらなるみどりの創出に資するしくみの充実

(公開空地におけるみどりの創出)

都市開発諸制度等において、公開空地を緑化した場合の評価など、緑化の一層の誘導促進をはかるようなさまざまな手法について検討を行います。

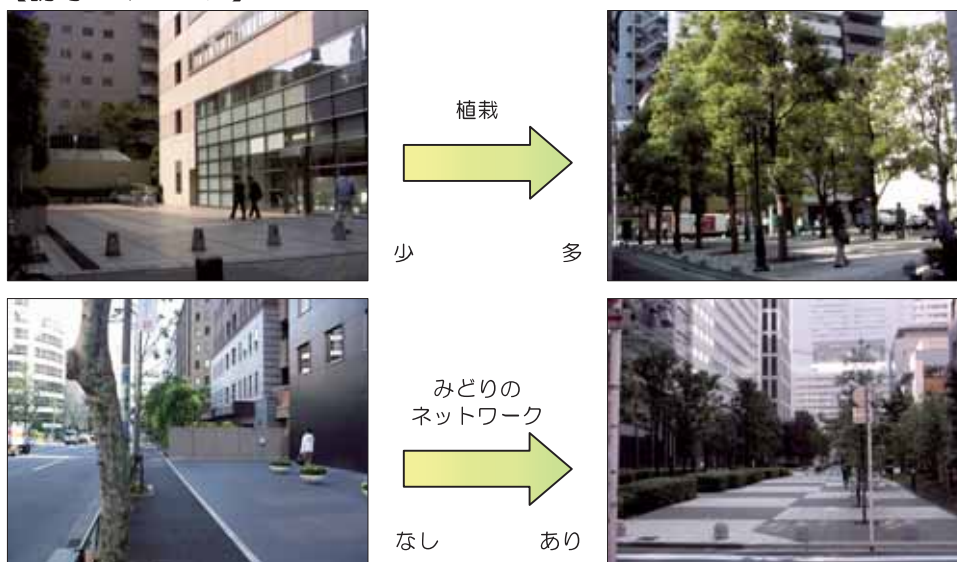
② 「公開空地等のみどりづくり指針」の策定と運用

(民間事業者による良好なみどり空間の創出)

都市開発諸制度等で創出される公開空地等に関して、新たに策定した「公開空地等のみどりづくり指針」に基づき、事業者に対して建築の企画構想段階においてみどりの総合基礎情報等を提供することで、以下の目標に沿った公開空地等の空間の価値を高める計画立案を誘導していきます。

- ・公共や民間のみどりとのネットワークの形成
- ・ヒューマンスケールにおける快適なみどり空間の創出
- ・見通し等が確保された安全な空間の創出
- ・造園の魅力が引き出された美しい空間の創出

【誘導のイメージ】



③ 河川緑地（河川にそった都市計画緑地等）の整備促進等に向けた取組み

(河川緑地の整備促進等に向けた誘導策の検討)

環境軸形成に重要な河川緑地を軸に、その整備とその周辺のみどりの集積を

促すまちづくりを誘導するようなしくみについて検討していきます。

- ・ 河川整備と連携した河川緑地の整備手法
- ・ 河川沿いにおける地区計画等のまちづくり制度を活用した手法
- ・ まちづくりの機会を捉えた既存公園緑地の河川沿いへの再配置等によるみどりのネットワークの強化手法 等



河川と一体となったみどり豊かな河川緑地のイメージ



河川沿いに隣接する農地や樹林地

④ 道路や河川沿いの樹林地や屋敷林等を保全するしくみの創設に向けた取組み
(既存のみどりの保全策の検討)

環境軸を形成する上で広がりと厚みを増す既存の樹林地や屋敷林等を、既存制度の活用とともに募金方式など、企業や地域住民等の協力により保全していくしくみについて検討していきます。

- ・ 企業やNPO等による募金活動等への支援手法
- ・ NPOや地域住民等のボランティア活動による屋敷林等の管理の活性化など



街道沿いの屋敷林



河川沿いの樹林地



■ 屋敷林保全の事例

◇ みどりと一体となったレストラン (小金井市)

そのほか、環境軸形成に資するさまざまなしくみづくりについて、多様な観点から検討していきます。